

種目【道徳】調査研究資料

調査項目	着眼点	調査の方法
1 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むこと	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	・道徳的価値についての内容項目相互の関連性や、学年段階ごとの発展性に配慮し、どのような構成・配列上の特徴があるか。
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	・目的に応じ、どのような言語活動が取り上げられているか。また、当該言語活動の分量はどのようであるか。 ・登場人物に自我関与する学習や問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習の三つの学習の内容や分量はどのようであるか。
2 主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促すとともに、生徒の学習習慣が確立するよう配慮すること	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	・今日的な課題等、生徒が問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするためにどのような教材を取り上げているか。また、その分量はどのようであるか。
	(2) 家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	・家庭や地域社会と連携するために、どのような内容を取り上げ、どのような構成・配列上の特徴があるか。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	・教育活動全体を通じて行う道徳教育との関連を図るために、どのような内容が取り上げられているか。	
4 印刷・製本等にかかわること	(1) 教科書の重量やページ数	・教科書の総ページ数、重量はどのようであるか。
	(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	・印刷の状況はどうか。また、障がいその他の特性の有無にかかわらず生徒に読みやすいものになっているか。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	・目次、索引、注、凡例、巻末資料等は、どのような特徴があるか。

調査項目・着眼点の根拠

■ 中学校学習指導要領
(平成 29 年告示)

第 1 章 総則 第 1 2

(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること。その際、生徒の発達の段階を考慮して、生徒の言語活動など、学習の基盤をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、生徒の学習習慣が確立するよう配慮すること。

■ 岐阜県教育振興基本計画 (2019 年 3 月)

基本方針 3

目標 11 「これからの時代に求められる資質・能力」の育成